



内 容

学期・月	小単元	学習のねらい・主な内容
1 学 期	4 オリエンテーション(1)	・社会の授業の目標、内容、評価などを知る。
	5 第一次世界大戦と日本 世界恐慌と日本の中国侵略 第二次世界大戦と日本 戦後日本の発展と国際社会 新たな時代の日本と世界	・第一次世界大戦後の国際情勢あらましを理解するとともに、民衆運動の高まりや、この時期の我が国の国民政治的意識の高まりに気づく。 ・世界恐慌の原因について理解し、各国の対応などの違いを考え、ファシズムの台頭について自分の意見を持つ。 ・第二次世界大戦の原因や概要について理解し、ヨーロッパとアジアの動きを比較しながら考える。 ・我が国が民主的で平和な文化国家への道を歩み、やがて独立を回復して国際社会に復帰した過程を理解する。 ・我が国が世界有数の経済大国になったことを世界と関連づけてとらえ、国際社会における日本の役割と現代社会の課題について考える。
	6 現代社会とわたしたちの生活	・人権尊重の視点への関心を持つ。 人権の歴史、日本国憲法の三原則
	7 人権と日本国憲法 人権と共生社会	・差別をなくすためにできることは何かを考える。 自由権、社会権、新しい権利、権利と義務 ・共生社会を実現するために自分たちでできる事を考える
	9 現代の民主政治 国の政治のしくみ	・民主主義の意義を理解する。 選挙のしくみ、世論、政党と政治 ・議会制民主主義の意義について考える。 国会、内閣、裁判所、三権分立 ・地方自治の意味と役割について理解する。 地方分権、地域づくり
	10 地方の政治と自治	
2 学 期	11 わたしたちの生活と経済 市場経済と金融	・身近なことから生活と経済の関係について考える。 所得、消費、流通、生産、資本主義経済 ・市場経済の基本的な考え方について理解する。 価格、金融、日本銀行、労働組合 ・政府が果たしている経済的な役割を考える。 租税、財政、社会保障、環境、日本経済の課題
	12 国民生活と福祉	・財政の役割について財源の確保と配分という観点と租税の意義と役割、納税の義務を通して理解する。
	1 国際社会と世界平和 国際問題とわたしたち	・世界平和を実現するために自分にできることは何かを考える 地域主義、地域紛争、主権国家、国際連合、NGO
3 学 期	2 よりよい社会をめざして	・資源、エネルギー、地球環境、平和問題について関心を持ち、個人としてどのように関わっていったらよいか考える 南北問題
	3 1年間のまとめ(2)	・1年間の学習内容の整理をする。

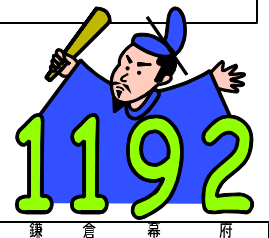
評 価

<評価の観点>

- ① 関心・意欲・態度
 - ・社会的事象に関心を持ち、それを調べたり、考えようとしている。
 - ・授業に真剣に参加している。
 - ・提出物をきちんと出すことができる。
 - ② 社会的な思考・判断
 - ・課題を見出したり、社会的事象の意義や特色、相互関係を考え、判断することができる。
 - ③ 表現・処理
 - ・地図や統計、新聞や映像など有用な資料を適切に活用したり、ノートやファイル、レポートを適切に表現している。
 - ④ 知識・理解
 - ・社会的事象の意義や特色を理解し、その知識を身につけている。
- <評価の方法>
- ・毎時間の授業への取組、定期テストの結果、プリント、ワーク、ノートやファイルの内容、提出物の状況、自己評価カードなどを基にして総合的に評価する。

教材・テスト・学習方法

授業の評価は、次のような観点方法で行います。



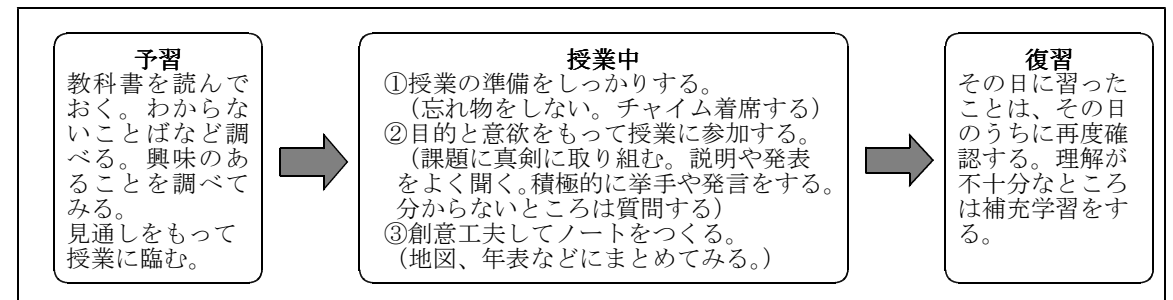
<使用教材>

- ・教科書・地図帳・資料集
- ・自作プリント
- ・ワークブック…基礎基本を身に付け、応用力を伸ばすための問題集

<テスト・提出物>

学 期	テ ス ト	提 出 物
1 学期	中間テスト・期末テスト	ノート、プリント、ファイル、ワークブック
2 学期	中間テスト・期末テスト	
3 学期	期末テスト	

<学習の進め方>



・地理や歴史に関係する本やテレビ番組を読んだり見たりすることは良いことです。その際に、地図帳や年表で地名や出来事確かめる習慣が社会科の学習にとって大切なことです。